

作成日：2026年3月26日

2026年3月21日

小手指まちづくりセンター分館

TTF報告書

ところティーンズフェスティバル

所沢市・所沢市教育委員会後援



NPO法人子ども地域ネットワーク所沢
所沢Secretbase施設責任者

清水 康平

1. 背景と当法人の目指す地域社会

現在、多くの学生は部活動や塾を基本とした余暇生活を送っており、地域社会との繋がりや、自ら社会に向けて挑戦する機会が失われています。同時に、大人の側も学生に対してどのように関わればよいのかを考える機会がありません。地域への意識などの希薄化が進む中で、学生が孤立し、身近な大人に相談する機会や将来を考える機会がなくなっているのが現状です。そのため当法人としては、学生が「やってみたい事」と「社会の課題」を結びつけるきっかけを作り出したいと考えています。学生が地域で生き生きと活動している姿を大人が見ることで、大人が学生に対して興味を持つ。その手前にある「知る機会」を創出することが重要です。「知ること」から、大人が学生に対して何ができるかを考えるプロセスを所沢市の地域社会に作っていく。これにより、学生が孤立せず、もし孤立しそうになっても、家庭・学校・習い事以外の「地域の大人がフラットな関係性の中で支えていける」、そんな温かい地域社会を目指して取り組みを行っています。



2. 本企画（TTF）の成り立ちとアプローチの転換

今回の取り組みの根底には、コロナ禍で進路を選択できる機会を失い苦労した現在大学生の若者が、「高校時代や中学生に対して出会いの場を作り、安心して自分の進路を考えられる機会をつくってあげたい」という強い思いがありました。そこから企画がスタートし、当初は進路相談会などのイベントを地域で行ってきましたが、中学生の参加率が振るわないという課題に直面しました。そこで、中学生が自ら「魅力的だ」と感じる機会を創り出し、そこから地域と繋がることへの関心や興味を持てるようなアプローチへと転換し、「ところティーンズフェスティバル（TTF）」を開催することになりました。高校生が中心となり、小中学生と一緒に取り組む中で知識や経験を広げていく。その中で、近い年齢のロールモデル（憧れの存在）を見つけ、その身近なつながりをきっかけに、最終的に大人との繋がりにも発展していくことを期待してプロジェクトを進めました。

3. 学生が得た学びと成長（プロセスにおける葛藤と達成）

企画を進めるにあたり、学生のブースや発表を中心に構成し、そのための資金を地域の企業や団体、個人に「協賛金」として集めていく取り組みを行いました。活動の広報を行い、協力してくださる方々が増えていく過程は、学生たちにとって大きな励みとなりました。同時に、企画書の作成や、大人への挨拶・アポイントの取り方など、社会的規範を実践的に学ぶ貴重な機会となりました。一方で、家庭や学校とは異なる「ゆるい（任意の）組織」に属しながら、自分たちが実現したいことを連携・共有することの難しさに直面し、悩み、涙し、葛藤する日々でもありました。今回も、代表をはじめとする役員の学生たちが上手いかわからない場面ですれ違いを経験し、自分の言葉や行動をどう示すべきか悩み抜きました。自分では気づけない側面を仲間から指摘され、的確な言葉を受け取る場面もありました。任意団体であるため、いくらでも途中で諦めることができる環境に関わらず、彼らは自分たちが決めたことを最後までやり切りました。「正解のない答え」を自分たちで手探りで探し、仲間と連携し、協賛や協力団体へ失礼のない形で進めなければならないという強い責任感と不安感に押しつぶされそうになりながらも、当日まで見事にやり遂げました。社会人になってもなかなか経験できないこの貴重な機会を通して、学生たちは「地域や仲間との繋がり」について深く考え、相手と向き合う際に何を大事にすべきかを学ぶ、非常に濃密な対人関係の学びの場となりました。

4. 地域社会・大人への波及効果

こうした学生たちの真摯な姿は、多くの地域の方々の目に留まりました。資金的な協賛に限らず、温かいお言葉をいただく機会が格段に増えました。今後の活動を行っていく上で、このTTFは当法人の活動の宣伝効果としてだけでなく、学生が地域の中で成長していく場として非常に大きな意味を持っています。これまで学生と繋がる機会がなかった方、関わる機会がなければ学生のリアルな姿を知ることがなかった方々と繋がれたことは、社会的に見ても大きな成果です。学生の有志（本気で取り組む姿）を見ることで、大人側の学生に対する「意識的な距離感」が縮まりました。「自己責任」や「他人行儀」で終わらせるのではなく、「共助」の精神の中で相手のことを考える機会が増え、お互いに過ごしやすい地域へと繋がっていく。その確かな手応えを感じています。



2025年度TTF代表
浅野 太陽

5. 今後の展望



当法人は、このTTFを通じて生まれた「学生の成長」と「大人との温かい繋がり」をここで終わらせることなく、今後も継続して支援してまいります。学生の個性が地域で活かされ、一人ひとりが輝き、互いに支え合える所沢市の実現を目指し、さらなる活動を展開していきます。



6. 来場者数

属性	人数
大人	371
子供	384
合計	755

7. スタッフ人数

属性	人数
大人・大学生	12
高校生	83
小中学生	5
合計	100

8. 会計報告

収入	
品目	金額
的あて	26800
くじ引き	49100
工作	34500
募金	22360
協賛金	122000
自己資金	88601
合計	343361

支出内訳

科目	内容・購入先	金額
会場費	小手指まちづくりセンター	59300
備品・消耗品費	JOYFULHONDA (延長コード、テーブル)	41580
備品・消耗品費	Amazon (キャンプテーブル)	4511
備品・消耗品費	Amazon (テント)	9183
備品・消耗品費	Amazon (テント重し)	4280
備品・消耗品費	Amazon (テントサイドシート)	6297
備品・消耗品費	Amazon (パーツケース)	5016
備品・消耗品費	DAISO (消耗品類)	3806
備品・消耗品費	DAISO (ブックスタンド)	880
装飾・工作・企画費	Amazon (忍者手裏剣)	4080
装飾・工作・企画費	Amazon (刀)	4400
装飾・工作・企画費	Amazon (忍者衣装)	6290
装飾・工作・企画費	Amazon (忍者道具)	18943
装飾・工作・企画費	DCM (手裏剣道場材料)	10265
装飾・工作・企画費	SHEIN (ビーズ工作セット)	11994
景品代	ヤマギシ (縁日景品)	88726
広報・印刷費	東京カラー印刷 (チラシ・パンフレット)	55410
保険料	スポーツ保険 300名分	8400

合計 343361

支出

科目	金額	備考
会場費	59300	小手指まちづくりセンター
備品・消耗品費	75553	延長コード、テーブル、テント類、パーツケース、消耗品等 (ジョイフル本田、Amazon、DAISO)
装飾・工作・企画費	55972	忍者関連企画資材、ビーズ工作セット (Amazon、DCM、SHEIN)
景品代	88726	縁日景品 (ヤマギシ)
広報・印刷費	55410	チラシ・パンフレット (東京カラー印刷)
保険料	8400	スポーツ保険 300名分
支出合計	343361	

合計 (収入 - 支出)

343,361 - 343,361 = 0円